

舷 想

第22号



海事代理士の日
6月1日

一般社団法人 日本海事代理士会

目 次

1. 巻頭言	・・・・・・・・	1
2. 本部活動報告	・・・・・・・・	2
3. 電子化推進ワーキンググループ ～「新たな船舶検査・測度制度の構築に向けた 検討会（電子化推進会議）」と海事代理士～	・・・・・・・・	6
4. 海フェスタしずおか報告	・・・・・・・・	9
5. 中央研修会報告	・・・・・・・・	12
6. 委員会からのお知らせ （専門委員会・広報委員会・情報技術調査委員会）	・・・・・・・・	14
7. 支部だより	・・・・・・・・	19
8. 四国支部研修報告 ～山中造船株式会社 建造中船舶 及び 来島海峡海上交通センター見学会～	・・・・・・・・	23
9. 海政連だより	・・・・・・・・	26
10. 頒布用紙一覧・発行図書一覧	・・・・・・・・	31
11. 会員動向	・・・・・・・・	32

巻 頭 言

副会長 秦 健一郎

平成から令和への改元のあった今年も余すところ、残りわずかとなりました。


2019年も色々なことがありました。5月に令和を迎えて気分一新、「良いことがあるように」と祈念された方は多いと思いますが、昨年同様、自然災害が頻発しました。不幸にも当会会員にも台風被害に遭われた方もいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。もはや我が国は、地震・台風・水害が多発する災害大国となってしまいました。地震や台風で電力供給を絶たれ、停電が引き起こされることもあり、国民生活に多大な影響を及ぼすことも珍しくなくなりました。明るい話題として挙げられるのは、ラグビー・ワールドカップのベスト8進出が記憶に新しいですが、多くの国民に勇気と感動を与えた象徴的な出来事でした。

一方、当会は、8月31日に理事会を、10月5日に中央研修会を終え、来年6月の総会までの任期満了に向け、小田会長以下、各理事及び委員が委員会活動に邁進しているところですが、早くも来年の理事候補者選挙に向けて選挙管理委員の選任を済ませました。今年6月の総会で役員選任規則の改正が実現した結果、従来の北・中・西3ブロックから東・西2ブロックへと理事候補者の選挙方法が見直されました。来年は新たな方法での選挙が実施されます。

現在、我が国ではあらゆる業界で人手不足が囁かれます。当会も例外ではなく、この小規模団体であっても代理士法改正、規則整備、ホームページ改修、情報提供のあり方の見直し等、なすべきことが山積しております。特に現在、力点を置いているのが会員専用ウェブページの制作です。現在の会員ホームページはセキュリティに難があるほか、管理者の業務負担が大きく、またパソコンによっては資料の更新ができないなど、最新の情報提供を会員の皆様にお届けできていないということもあり、現在鋭意改修作業を行っているところですが、応急措置として別の手段を用いて情報をご提供します。

理事の中には複数の委員会を兼務している方が何人もいます。現在規定されている員数の15名の見直しを行わないとすれば、多重委員の負担を減らすには委員会の構成委員の人数を増やして対応するほかにはないのではないかとともに思います。そのためだけではありませんが、会員の皆様には是非とも当会会務に関心をもっていただきたいと思えます。殊にW杯で世界を席卷した、ラグビー日本代表の「One for All」「All for One」の精神を見習い、皆様のご協力ご理解を賜り、役員一同努力する所存であります。

年末に向けて何かと忙しくなる時期ですが、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。



舷想は会員限定の広報誌です
続きはこちら



<https://jmpcaa.org/company/>

海事代理士の日
6月1日